

令和 6 年 6 月 24 日

松戸市長 本郷谷 健次 様

第 12 期松戸市緑推進委員会
会 長 柳 井 重 人



第 12 期松戸市緑推進委員会の提言および活動報告について

第 12 期松戸市緑推進委員会では、令和 4 年 7 月から令和 6 年 6 月末までの 2 年間にわたり、第 11 期松戸市緑推進委員会から引継いだ課題、及びその関連事項について、慎重かつ前向きに議論を重ねて参りました。

このたび、「みどりと暮らす。松戸に暮らす。豊かに暮らす。」を目指す松戸のみどりのまちづくりについて、別紙のとおり委員会の総意として、「第 12 期委員会の提言及び活動報告」を作成しました。その中で、今後、重点的に取り組むべき事項を、下記の 3 項目として掲げ、取りまとめましたので、ここに提出します。

提 言

1. みどりのシティプロモーションを推進することにより、みどりの関係人口を確保する

具体的事項

- ・ 少子高齢化等の傾向を踏まえ、みどりを取り巻く担い手や担い方を広げること
- ・ 様々な媒体と連携した広範囲なシティプロモーションを推進すること
- ・ ターゲットの特性に合わせたきめ細かいシティプロモーションとすること
- ・ 「みどりと暮らす豊かさ」を実感できるまちづくりの推進につなげること

2. フォレスト・マネジメントの仕組みを早急につくる

具体的事項

- ・ 樹林地台帳を整備し、樹林地を評価するとともに、施策への展開を図ること
- ・ 都市緑地法の一部改正により、新たに創設された制度を積極的に活用すること
- ・ 里やま保全活動や樹林地の所有者など、みどりの市民力への支援を強化すること
- ・ 陸と海の保全を目的とした 30by30 の「自然共生サイト」の認定を推進すること
- ・ 森林環境譲与税の積極的な活用など新たな財源を確保すること

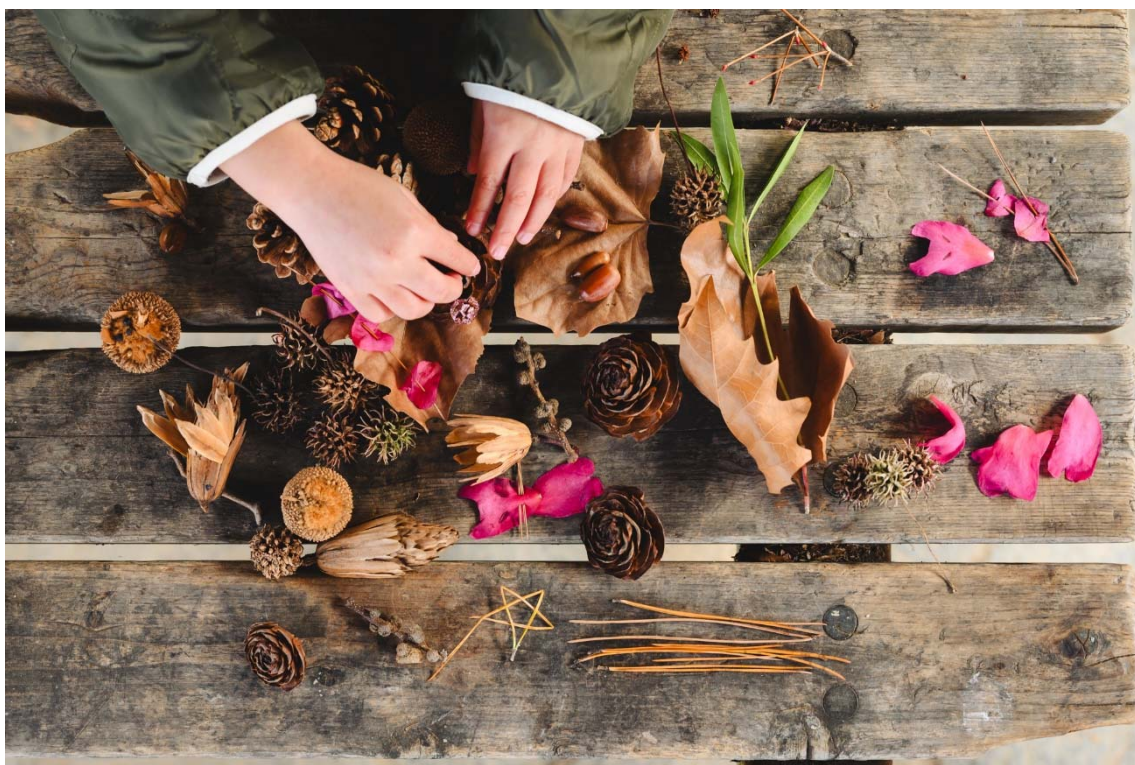
3. みどりのプラットフォームの構築と行政内部の連携及び民間との連携を促進させる

具体的事項

- ・ みどりのプラットフォームの構築において、実践を進め関係主体団体を支援すること
- ・ 子育て、広報、観光、環境等関連部局と連携しリソースの活用を図ること
- ・ 民間企業と松戸のみどりの施策をつなげるため、必要な事項を検討すること

以上

第12期松戸緑推進委員会
委員会の提言および活動報告



令和6年6月
松戸市緑推進委員会

目 次

1. 第12期委員会の活動方針	1
1.1 第11期委員会から第12期委員会へ	
1.2 第12期委員会の活動方針	
2. 第12期委員会の活動成果と経緯	2
2.1 第12期委員会の活動成果	
(1) みどりのメッセージブック	
(2) 松戸市の持つリソースの活用	
2.2 活動成果までの経緯	
(1) 「松戸しみどりの基本計画」の理解促進に関連する議論	
(2) みどりのシティプロモーションに関連する議論	
3. 緑推進委員会に関連した活動	6
3.1 緑推進委員会が主催する活動	
(1) 松戸みどりのフォーラムの開催	
(2) 緑と花のフェスティバルへの参加	
3.2 緑推進委員会から派生した活動	
(1) セタプロジェクト	
(2) 松戸のみどり再発見ツアー	
(3) 松戸花壇づくりネットワークの活動	
(4) 里やまボランティア入門講座	
(5) オープンフォレスト in 松戸の推進・支援	
(6) ちば里山アワード大賞受賞記念講演会	
3.3 みどりのサロン部会の活動について	
(1) サロン部会の設置	
(2) みどりのサロン部会の活動	
4. 提言および第13期委員会に引き継ぐ課題	18
4.1 はじめに	
4.2 提言	
(1) みどりのプロモーションを推進することにより、みどりの関係人口を確保すること	
(2) フォレスト・マネジメントの仕組みを早急につくること	
(3) みどりのプラットフォームの構築と行政内部の連携及び民間との連携を促進させること	
4.3 第13期委員会へ引き継ぐ課題	
(1) みどりのシティプロモーションについて	
(2) 樹林地の保全について	
(3) みどりのフォーラムについて	
(4) みどりのサロン部会について	
5. 参考資料	20

1. 第 12 期委員会の活動の方針

1.1 第 11 期委員会から第 12 期委員会へ

第 11 期委員会で取り組んだみどりの基本計画は、みどりに関する総合的な中長期的計画であり、行政だけでなく、市民や事業者を含め、多くの主体が連携・協働して「みどりのまちづくり」を推進するための指針となっている。

しかし、150 ページの及ぶ基本計画は一般市民が馴染み易いものとは言えず、「みどりに興味のある人、以外の人」には【知ってもらう】ことから始める必要があるとの認識から、基本計画の理解促進が第 11 期からの引継ぎ事項となった。

また、当たり前のように身の回りにある「みどり」を知ってもらい、みどりのファンを増やすことが、みどりの活動を活性化する方法の一つであることから、みどりについてのシティプロモーションを提案し、みどりに関連する環境・活動・団体など、それぞれが独立しているものをネットワーク化して関係を持つことによる「新しい価値の創造」や「新しい考えの受け皿」として機能できる「みどりのプラットフォーム」の構築の検討を第 12 期へ引継いだ。

1.2 第 12 期委員会の活動方針

第 11 期委員会（令和 2 年（2020 年）7 月～令和 4 年（2022 年）6 月）から引継いだ 3 つの項目を遂行するために第 12 期委員会では何を行うべきか議論を重ね、今のみどりに関連する活動に不足しているみどりのシティプロモーション、他分野連携、多世代交流、という課題をテーマに進めることになった。

また、第 12 期委員会ではみどりの基本計画のテーマ「みどりと暮らす」を実践するための試行的取り組みについても挑戦することとした。



2. 第 12 期委員会の活動成果と経緯

2.1 第 12 期委員会の活動成果

(1) みどりのメッセージブック

第 12 期委員会での議論より、「松戸市みどりの基本計画」の「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」の実践を目指してメッセージブックを作成した。

メッセージブックのターゲットについては、現在、様々な情報媒体が利用され、世代によっては利用する情報媒体の利用方法が違ふこと、又、世代により、みどりに求める情報も違ふことから、それぞれの世代にマッチする情報（ライフスタイル）を発信することが議論された。

メッセージブックの作成と並行し「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」ためのマイルストーン（中間目標）として、メッセージブックの基本事項を定めた編集方針を作成した。委員会ではメッセージブックの作成コンセプトを「みどりのライフスタイルと共感」とし、3 世代のターゲットを定め、メッセージブック作成の際はペルソナを設定することとしている。今後は、メッセージブック作成の過程で得た課題やメッセージブック配布と合わせて実施したアンケート結果を、編集方針に反映させる。

また、メッセージブックの作成において、「みどりの市民力」の発掘を試みた。松戸市と関わりのある様々な分野の人物、団体とイベントなどを通じて知り合った、編集技術、デザイン技術、写真撮影技術等に優れた市民にメッセージブックの作成協力をお願いし、今回冊子を作り上げている。

設定した 3 つのターゲット

ペルソナ 1 子育て前の世代

ペルソナ 2 子育て世代（メッセージブック試作品の対象）

女性、37 才、共稼ぎ、幼稚園と小学校 2 年生のいる 37 才、
女性、共稼ぎ

ペルソナ 3 子育ての終わった世代

今回のメッセージブックは、試作品として、ターゲットをペルソナ 2「子どもを自然に触れさせたい、手軽に自然体験ができる場所を求めている幼稚園と小学校 2 年生の子供がいる 37 歳の女性」（設定した 3 つのターゲットを参照）を設定し作成している。



【みどりのメッセージブック】

みどりのメッセージブックを令和6年(2024年)度4月の緑と花のフェスティバルで配布するとともに、メッセージブックで取り上げた「みどりと遊ぶ暮らしの提案 草花であそぼう!」をメッセージブックに登場する「New草花あそび研究所」相澤所長と一緒に体験して頂きアンケート調査を実施している。

(2) 松戸市の持つリソース活用

みどりの情報を広く発信する手段について議論する中で、松戸市の持つリソースを確認し相互に利用できれば、互いの取り組みに相乗効果が生まれるのではないかと、との提案があった。

そこで松戸市が発行している広報紙に加えて、より多くの市民へ情報を届ける手段について松戸市のリソースを調査・整理し、動画などのデジタルコンテンツの利用や他部署との連携についても検討を行った。

松戸市のシティプロモーション担当室との協議をきっかけに、みどりの取り組みや資源について情報を提供したことで、市民に里やま保全へ理解を目的とするオープンフォレストなどの取り組みについて松戸市を市内外にPRする冊子「晴耕雨読」への掲載や、みどりのライフスタイル動画作成が決まった。

晴耕雨読のような冊子及びデジタルコンテンツは、松戸市以外の人やみどりへの関心が薄い方へも広くPRすることが出来るため、新たな層への周知となる。計画の浸透から関係人口の増加、プラットフォーム構築へも繋がることが期待される。

2.2 活動成果までの経緯

令和4年(2022年)7月から令和6年(2024年)6月までの2年間の任期中、11回の委員会を開催し主に以下の内容について審議した。

みどりのメッセージブック、リソースの活用成果に至るまでの経緯は以下のとおりである。

(1)「松戸しみどりの基本計画」の理解促進に関連する議論

公表された「松戸しみどりの基本計画」は、みどりに関する現状の整理から関連する施策など150ページに及ぶ内容となっており、一般市民が読むことを考えると、とても時間のかかるものとなっていることから、一般市民への認知度・理解度の向上を図るための意見を交わした。

みどりの基本計画の理解については、メッセージブック等でみどりを楽しんでいる様々な人々のライフスタイルを紹介し、メッセージブックを手にとった人が紹介されていたことを同じように楽しみ、みどりのあるライフスタイルの楽しみを実践し、みどりの基本計画の目標に結び付く仕組みをつくることとした。

委員会での主な意見

- 抜き刷りをしてまとめた縮小版のようなものでは一般市民には理解しにくいので、子供向けの絵本のように文字を少なくして絵や図で内容を理解しやすいものを作る。
- 年代によって意識が違うので、子供から高齢者まで、それぞれにPRできるような方法を考える。
- あらゆる分野のマーケティングでターゲットとなっているZ世代についても考えた方がいい。
- みどりが好きな人という枠の外の人たちに知ってもらえるようなものが必要。
- 概要版、パンフレットを作っても伝わらない。
- 年代によって緑の感じ方が違う、又、情報をキャッチするインターフェースが違う。
- 大人から子供まで、分かりやすく伝える。
- みどりに関することを暮らしの中で、どのように関係させられるか。みどりと繋がる新しい暮らしがあると興味がわくのではないかな。
- 基本計画の内容を伝えるのに「読んでください。」ではなく、動画を見たり、何かを体験したりして感じ取ることが大切。

- 基本計画の内容ごとにアイコンを作るとイメージが伝わりやすい。
- 基本計画を見ることはしないで「みどりと触れるきっかけを作る」その体験が基本計画にあることを知ってもらう。

(2)みどりのシティプロモーションに関連する事業

身近なところに当然のようにある「みどり」について存在を認知して、恩恵や効能を実感できるようになれば重要性にも気づいてもらえる。その出発点となる重要なシティプロモーション活動をどのような形で行うか審議した。

その過程において、世代により求めるみどりの違いや、利用する情報媒体の違いにより、年代毎に求められるみどりの情報提供を、その年代に適した媒体を利用し、きめ細かいサービスの提供を行うこととした。

また、既に各種 SNS などの既存デジタル媒体が多数存在することから、それらの有効利用を検討することとした。

今期においては子育て世代向けに紙媒体でのメッセージブックを作成することとなった。

委員会での主な意見

- シティプロモーションのネタとして、今までの委員会の活動報告書を分かりやすくして一般市民が理解できるようにすれば、個別の活動自体がシティプロモーションにもなる。
- 若い世代には動画、上の世代には紙媒体がいい。
- 行政が情報発信をすると面白いものはできないので、何かをしているところへのリンクを貼るくらいにした方がいい。
- 委員会のコンセプトをまとめたコンセプトブックを作って発信してはどうか。
- イメージを伝えた上で基本計画のどこに関連するかを伝えると分かりやすい。
- みどりの楽しみ方のカタログのようになると面白い。
- 誰に向けた情報発信とするのかをしっかり考えて作成するためペルソナを設定して内容を検討したい。
- 各ページに写真や絵を入れて、文字の量を少な目にするとう分かりやすい。
- ペルソナに向けた「みどりのライフスタイル」を提案することにより、みどりに対して共感を得ることを目指したい。
- 取材のデータのように奥行きのあるものはデジタルデータにして QR コードで飛べるようにする等の仕掛けをするとより楽しめるものになる。
- 肖像権や著作権への配慮をして、出来上がったデータに制限が付かないような作り方をしておく、後の使い方に自由度が増す。

3. 緑推進委員会に関連した活動

緑推進委員会では、今期、実践したもの以外にも「みどりの市民憲章」の実現に向けての取り組みとして、以前より様々な緑の活動を推進・支援している。（資料編参照）

3.1 緑推進委員会が主催する活動

(1) 松戸みどりのフォーラムの開催

みどりのプラットフォーム

みどりの活動の外側にある異分野と交流し、今まで関係してこなかった団体や活動と協働することによるイノベーションを目指す。そのためには、それぞれを繋ぐネットワークが必要であり、新しい価値観にも対応するプラットフォームが求められる。

プラットフォームとして機能していくため、今後も様々なカテゴリーと係わり、関係人口を増やしていくための仕掛けを考えていく必要がある。

第12期ではプラットフォーム構築の足掛かりとなるべく、「みどりの活動以外の人」にも参加をしてもらい、第2回「松戸みどりのフォーラム」を実施した。

みどりのフォーラム

みどりのフォーラムをどのような形で開催するか、具体的な開催内容についてはみどりのサロン部会で検討した。フォーラムの開催目的はみどりのプラットフォームの構築であることから、第1回みどりのフォーラムのみどり関係団体間の連携から発展させる必要があり、第2回みどりのフォーラムは他団体との連携、みどり関係以外の団体や個人とみどりの掛け合わせによる反応の確認、身近なみどりの発見をテーマに開催内容を検討した。

また、みどりの持つ魅力を体感して頂くため、屋外での開催を決めた。

他団体との連携

他団体と連携して開催するために、会場を金ケ作育苗圃とし、同日に金ケ作育苗圃向かいの囲いやまの森で開催されるイベント「あそびの森 in 囲いやま」実行委員会と連携し開催した。

「あそびの森 in 囲いやま」実行委員からは、あそびの森の来園者が金ケ作育苗圃に足を運んでもらえるようフォーラム開催内容についてアドバイスを頂き、フォーラムのプログラムに子供の遊びの要素を加えることとなった。また、金ケ作育苗圃でフォーラムが開催されていることが、「あそびの森 in 囲いやま」に遊びに来た人が分かるように、フォーラムの案内などについてご協力を得た。

その他、フォーラムのプログラムには金ケ作育苗圃でボランティア活動を行っている「松戸花壇づくりネットワーク」、「松戸ハーブボランティア」と令和4年（2022年）よ

り金ケ作育苗圃とその周辺地区についての利活用を研究している千葉大学にお願いした。

みどり関係以外の団体、個人について

「みどり関係以外の方々に松戸市のみどりの魅力を紹介することで何か生まれるかもしれない」を目的に、金ケ作育苗圃周辺に点在するみどりを巡るツアーを企画し開催した。ツアー参加者については、みどりのサロン部会から、歴史同好会、市民活動コーディネーター、街づくり関係者、アーティストなど様々なジャンルの方を招待した。また、金ケ作育苗圃について研究を行っている千葉大学の学生にも参加して頂いた。

ツアー終了後は、フォーラム会場でアンケート調査及びワークショップを行った。

開催概要

タイトル：松戸みどりのフォーラム 2023「みどりと過ごす癒しの庭へようこそ」

日時：令和5年(2023年)11月19日(日) 10:00~15:30

場所：松戸市金ケ作育苗圃（みどりのフォーラムを「あそびの森 in 囲いやま」の第2会場と位置付け）

プログラム：金ケ作のみどり再発見ツアー&ミニワークショップ

ご近所の森を紹介します。（パネル展示）担当：緑推進委員会

お絵かきでオリジナル植木鉢をつくろう 担当：松戸市

あそび（輪投げ等） 担当：松戸花壇づくりネットワーク

なぞ解きクイズ 担当：松戸市

ハーブティーの試飲、ハーブ体験 担当：松戸ハーブボランティア

木質資源の活用・循環（パネル展示、堆肥づくり）担当：千葉大学



〔会場風景〕



〔みどりの再発見ツアー〕



〔植木鉢ワークショップ〕



〔ハーブ体験〕

アンケート結果（抜粋）

■印象に残った場所

招待者 1番 金ケ作育苗圃 2番 囲いやまの森 3番 金ケ作自然公園
 学 生 1番 金ケ作自然公園 2番 祖光院、囲いやまの森

- 子どもたちの経験や体験する機会や場所が必要だと考えている。囲いやまの森の豊かな自然が魅力に感じました。
- 自然のままの広い森と、人工的に手入れされた庭園の比較が面白いと思った。
- 自然公園の樹林は、光が適度の当たる明るい場所で心地よかった。
- 住宅地が多い中で、これほどの大きな緑地が残っていることの素晴らしさを感じた。
- 公園というイメージから想像する様子と異なり、かなりの自然の状態で樹々が残存しており、間伐も行われていることで見通しの良い状態が両立されていた。

■金ケ作育苗圃がどのような施設になったら良いと思いますか

- 休憩できる場所、カフェなど、トイレ。
- 夏の暑さから避難できる場所、簡単な売店。
- 多目的な施設にしてほしい。
- みどりの交流拠点。

■金ケ作育苗圃を自由に使えるとしたら何がしたいですか

- 育苗圃に「秘密の花園」というイメージ、印象を受けた。樹林地が近く、育苗圃もあり野草酵素を作ってみたい。
- 雨でも集まれる場所があったら良いと思った。

今後の検討事項（抜粋）

- 金ケ作地区の「みどりの豊かさ」をどう伝えていくか
- 金ケ作育苗圃の活用事例づくり及び活用のためのルールづくり
- 新しい市民団体が利用する場合の仕組みづくり
- ツアー参加者との今後のつながり・連携について

(2) 緑と花のフェスティバルへの参加

令和 5 年（2023 年）4 月 29 日に開催された「緑と花のフェスティバル 2023」、令和 6 年（2024 年）4 月 29 日に開催された「緑と花のフェスティバル 2024」に参加した。令和 2 年（2020 年）当初より猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ内容を検討した。従来は「みどりのスタンプラリー」と「パネル展示」であったが、より「みどり」を身近に感じられるよう内容を変更した。

日時：令和 5 年（2023 年）4 月 29 日（土） 9：30～15：00

場所：21 世紀の森と広場（つどいの広場）

概要：身近な植物に材料として触れる機会を提供。材の固さや特徴、匂い等の違いを感じてもらい、植物に愛着をもってもらうことを目指す。



〔緑推進委員会ブース(2023)〕



〔みどりと花の課ブース(2023)〕



〔フェスティバル当日(2023)状況〕

日時：令和6年（2024年）4月29日（月） 9：30～15：00

場所：21世紀の森と広場（つどいの広場）

概要：メッセージブックの内容を実際に体験する機会を提供。植物を使って小物を作成するなど、みどりへの共感を得ることを目指す。



〔緑推進委員会ブース(2024)〕



〔みどりと花の課ブース(2024)〕



〔フェスティバル当日状況(2024)〕

3.2 緑推進委員会から派生した活動

(1) セタプロジェクト

平成 25 年（2013 年）度からは、みどりの市民憲章「子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。」をテーマに、里やまボランティアの皆さんの協力を得て、樹林地の保全活動で生じる伐採した竹をセタ用の竹として、希望する放課後児童クラブ等へ配布する「セタプロジェクト」に取り組んでおり、好評を得ている。



〔セタプロジェクト（竹の採取）〕

(2) 松戸のみどり再発見ツアー

平成 21 年（2009 年）度より実施している「みどりを訪ねて歩いてみよう～松戸のみどり再発見ツアー」の後援を行っている。

なお、「松戸のみどり再発見ツアー」を主催している「緑のネットワーク・まつど」は、平成 12 年（2000 年）からはじまった身近な緑の保全活動が評価され、平成 30 年（2018 年）5 月に第 29 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞している。



〔松戸のみどり再発見ツアー〕

(3) 松戸花壇づくりネットワークの活動

松戸花壇づくりネットワークは、第2期委員会の「パートナーシップによる緑の育成管理方策検討部会」の活動をきっかけとして、平成17年（2005年）に発足した。花壇づくり団体の情報交換や人的交流の拡大を図ることを目的としており、緑と花のフェスティバルなどへの参加を通じて、本委員会とも密接な協力関係を築いている。

平成19年（2007年）から平成22年（2010年）までは東松戸ゆいの花公園において活動し、この公園での市民による花壇活動の礎を築いた。平成22年（2010年）にはちば国体開催に向けた「おもてなしの花」育成活動も行っている。平成23年（2011年）からは金ケ作育苗圃を拠点に種からの花苗づくりに取り組んでいる。また、平成25年（2013年）には、市制70周年記念事業の一環として庁舎前花壇に花苗の植付けを行い、以降令和2年（2020年）まで花壇の維持管理活動を行った。

こうした長年にわたる活動の功績が認められ、平成27年（2015年）には第26回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞している。

また平成29年（2017年）度からは、金ケ作育苗圃において「花づくり体験講座」を実施し、新たな「みどりの担い手づくり」にも尽力している。



〔花づくり体験講座〕



〔緑と花のフェスティバルへの参加〕

(4) 里やまボランティア入門講座

「これ以上みどりを減らしたくない」「次の世代に良好な自然環境を引き継ぎたい」という思いを市民、森の所有者、行政が共有する中で、第2期委員会における樹林地保全部会の発案により、平成15年（2003年）度に第1回「里やまボランティア入門講座」が実施され、その修了生が「松戸里やま応援団・一起の会」を立ち上げ、以降松戸市の里山活動が活発になっていった。「里やまボランティア入門講座」は毎年行われており、令和6年（2024年）6月現在で、この講座の修了生を中心に17グループ（約300名）が「松戸里やま応援団」として、所有者の理解のもと森で活動をしている。

なお「里やまボランティア入門講座」の特色には以下の事項が挙げられる。

- (1) オリジナルの講座プログラムがあり、市民、行政、中間組織の3者協働で開講されている。
- (2) 講座修了生が、自主的に団体を組織して活動に入っている。
- (3) 修了者による団体が「松戸里やま応援団」としてネットワークを結成し、互助のコミュニティを結成している。
- (4) 人員のスキルアップ（管理・安全・生態・制度など）を図るための「ステップアップ講座」が里やま応援団を主体として開講されている。
- (5) 活動場所のほとんどは民有の樹林地である（一部公園を含む）。
- (6) 講座修了生が、新たな緑の担い手育成に主体として携わっている。



〔現地実習〕



〔ワークショップ〕

(5) オープンフォレスト in 松戸の推進・支援

「個人の庭を公開するオープンガーデンがあるなら、森を公開するオープンフォレストもどうだろう？」という緑推進委員のアイデアを受け、平成 24 年（2012 年）度から「オープンフォレスト in 松戸」が始まり、里山活動をするグループが、それぞれの森（一部公園を含む）で工夫を凝らして森を公開している。毎年春に行われるこの催しには全森合計で 2,000 人以上のお客様をお迎えしており、身近なみどりの大切さに目を向け、都市部に残された森の価値を理解してもらう大変有意義な機会となっている。委員会では毎年このイベントに対し後援を行っている。

なお、本イベントを主催する「オープンフォレスト in 松戸実行委員会」は、本イベントの趣旨とその活動内容が評価され、平成 28 年（2016 年）に第 27 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞している。（同じく 28 年（2016 年）には、公園の活性化において市民と行政の協働事業が大きな成果をあげている「根本内歴史公園サポーター根っ子の会」も同賞を受賞している。）

都市部における樹林地の保全については、相続や担い手不足による樹林地の喪失が進んでおり、未だ解決策は見出せていないのが実情であり、本委員会としては「オープンフォレスト in 松戸」の支援に合わせ、樹林地を守り育てていくための新たなシステムの検討について、第 13 期委員会へ引き継ぐ課題としている。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和 2 年（2020 年）度は中止、令和 3 年（2021 年）度は規模を縮小して開催した。令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症対策を実施し開催し、令和 5 年（2023 年）度からは新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、通常通りの開催となっている。



〔オープンフォレスト in 松戸〕



「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰〕

(6) ちば里山アワード大賞受賞記念講演会

ちば里山アワードの大賞を受賞したことを記念して講演会と座談会を実施。

自然と子どもを繋ぐインタープリターである村松亜希子氏を講師に迎え、みどりと触れ合う子どもたちの姿や、幼少期の自然体験から育まれるもの等について幼保育園の自然教育の事例を交えながらの講演をいただき、その講演から見つけたもの、気付いたことを座談会で参加者と共有した。

日 時：令和5年（2023年）3月26日（日） 13：30～16：00

場 所：市民会館 301 会議室

参加者：81 名（うちオンライン 18 名）

講演者：NPO 法人 生態教育センター 理事 村松亜希子氏

座談会：千葉大学大学院 園芸学研究院 教授 柳井重人氏（ファシリテーター）

NPO 法人 子どもっとまつど 加賀まゆみ氏

松戸里やま応援団、ネイチャーゲームリーダー 羽根敏子氏

NPO 法人 生態教育センター 理事 村松亜希子氏



〔座談会の様子〕

3.3 みどりのサロン部会の活動について

(1)みどりのサロン部会の設置

みどりの市民力を持続可能なものとするための形を模索するため、第12期緑推進委員会においても、みどりのサロン部会が立ち上げられた。

今までの活動として「市民活動団体へのアンケート調査」「第1回松戸みどりのフォーラムについての検討」「みどりのキーパーソンとの学習会」「こどもみらいフェスタへの参加」など、実際に行動し、みどりの市民力についての展開を模索してきた。

(2)みどりのサロン部会の活動

第12期委員会でのサロン部会の主な活動は以下のとおり。

- ① 「第2回松戸みどりのフォーラム」の企画・準備
- ② みらいフェスタの参加検討
- ③ メッセージブック特集記事の検討

≪活動内容≫

① 第2回松戸みどりのフォーラムの企画・準備

みどりの拠点の一つである金ケ作育苗圃の認知度を上げて「みどりと街を繋ぐ」ことを目指し企画を検討した。第1回みどりのフォーラムが主にみどりの活動団体の紹介発表と交流・ネットワークの構築を主としたものであったのに対し、第2回みどりのフォーラムでは一般市民にみどりを宣伝する、又は金ケ作育苗圃を知ってもらうことも目指した。

② みらいフェスタへの参加

令和5年(2023年)3月25日(土)に予定されていた「みらいフェスタ2023」については、前年度に引続き、みどりのプラットフォーム構築やみどりの情報発信、他分野との連携の課題について模索するため、植木鉢に自分でペイントをして花を植えるワークショップや里やま応援団による木工体験など身近なみどりに触れることの出来るメニューを企画し参加を目指したが、当日の天候不良により屋外出店が中止となった。

令和6年(2024年)3月23日(土)に予定された「みらいフェスタ2024」へは不参加とした。みらいフェスタ2024については、前の年の11月にみどりのフォーラムを開催したことにより、みどりのプラットフォーム構築やみどりの情報発信、他分野との連携の課題について模索する機会となったことから、不参加を決定している。

③ メッセージブック特集記事の検討

第12期委員会での議論より、「松戸すみどりの基本計画」の理解促進を目指してメッセージブックを作成することになった。みどりのサロン部会では委員会での議論を基にタ

ターゲットとしたペルソナに相応しい特集内容やページの基本的な構成について検討を行った。

4. 提言および第 13 期委員会へ引継ぐ課題

4.1 はじめに

本委員会では、松戸のみどりの認知度向上やブランド力を上げるため、みどりのシティプロモーションについて議論し、試行的に実践した結果、みどりの市民力の強化とみどりの関係人口の確保が必要であるという見解に達した。

一方、昨年、里やま応援団が活動していた「里やま」が突如消失し、樹林地の減少に歯止めがかかっていない。近年の国際的な自然保全の動向や身近な「里やま」の消失を機に、松戸市のみどり行政において、都市部の貴重な樹林地の減少に対し、樹林地保全施策を強化した新たな施策が必要であるとの共通認識を得た。樹林地を保全し将来に残すことが出来なければ松戸市のみどりの市民力は衰退する。今、樹林地保全の実現に向けた新たな仕組みづくりが必要であるという見解に達した。

第 12 期委員会は、活動の中で見えた課題について整理し、下記の通り 3 つの提言を導いた。

4.2 提言

(1)みどりのシティプロモーションを推進することにより、みどりの関係人口を確保する

「みどりと暮らす豊かさ」を実感できるまちづくりのため、少子高齢化の傾向を踏まえ、みどりをとりまく担い手や担い方を広げることが必要である。その実現のため、様々な媒体との連携を強化し、みどりのシティプロモーションを推進し、みどりの関係人口を確保すること。また、今後、更に発展が見込まれるデジタル技術については、積極的に活用しターゲットの特性を踏まえたきめ細かい効果的なシティプロモーションを行うべきである。

(2)フォレスト・マネジメントの仕組みを早急につくる

市の樹林地保全施策と市民ボランティアの手により長らく松戸の「里やま」の保全を行って来たが、樹林地の減少に歯止めがかかっておらず、市は樹林地台帳を整備し、樹林地を評価するとともに、みどりの基本計画にあるフォレスト・マネジメントの仕組みを早急につくるべきである。特に、松戸のみどりを守ってきた里やま保全活動や樹林地の所有者など、みどりの市民力をサポートする体制の強化や新しい財源としての森林環境譲与税の積極的活用などの検討が必要である。

また、これらに関する施策においては、今年 5 月に可決され成立した「都市緑地法等の一部を改正する法律案」で、新たに創設された制度を積極的に活用する他、2030 年までに国の 30%以上を自然環境エリアとして保全する「30by30」や、その中で示される「自然共生サイト」の認定を推進するべきである。更には、2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる「ネイチャーポジティブ」の実現など、国際的な動向に留意する必要がある。

(3)みどりのプラットフォームの構築と行政内部の連携及び民間との連携を促進させる

市はみどり豊かなまちづくりのために、ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォームにおいては、実践を推進し関係主体団体には必要な支援を行うこと。

また、子育て・広報・観光・環境等の関連部局にはみどりと親和性の高い様々なリソースがあるが、連携や活用は一部に留まっていることから、積極的に連携しリソースを活用すべきである。

民間企業については、みどりとの連携が遅れているため、課題について調査し、みどりの施策とつなげるために必要な事項について早急検討すること。

4.3 第13期委員会へ引き継ぐ課題

(1)みどりのシティプロモーションについて

本委員会ではメッセージブックという形でシティプロモーションの試作品を完成させたが、新たなみどりの関係人口確保に、みどりのシティプロモーションは有効と考えられる。そこで、次のステップについてどのようなシティプロモーションの展開が必要か検討し実践すること。また、今後、市が作成することになった「みどりのメッセージブック」について、第13期緑推進委員会は「松戸みどりのメッセージブック編集方針」（案）で定めた目的やコンセプトから、みどりのメッセージブックの内容が逸れることのないよう、必要に応じて市に助言すること。

(2)樹林地の保全について

提言として「フォレスト・マネジメントの仕組みづくり」を掲げたが、その早期実現のため、従来の保全施策を強化する新たな保全施策について、必要な事項を調査・検討すること。

(3)みどりのフォーラムについて

みどりのプラットフォームの実現に向け、「みどりのフォーラム」の継続的な実施と、みどり以外の様々な団体等との相互交流や連携した取り組みの試行およびその検証を行うこと。

(4)みどりのサロン部会について

みどりのプラットフォーム実現に向けた作業チームとして「みどりのサロン部会」の設置を検討すること。

5. 参考資料

- 資料 1 第 12 期松戸市緑推進委員会委員名簿
- 資料 2 第 12 期松戸市緑推進委員会の開催概要
- 資料 3 松戸市緑推進委員会の活動模式図
- 資料 4 みどりのサロン部会名簿及び活動記録
- 資料 5 松戸花壇づくりネットワークの活動
- 資料 6 「里やまボランティア入門講座」関連資料
- 資料 7 「オープンフォレスト in 松戸」関連資料
- 資料 8 「松戸のみどり再発見ツアー」開催一覧
- 資料 9 みどりのメッセージブック
- 資料 10 みどりのメッセージブックの作成について
- 資料 11 みどりのメッセージブックに関するアンケート結果

■第 12 期松戸市緑推進委員会名簿（令和 4 年 7 月 1 日～）

役 職	氏 名	所 属 等
会 長	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究院教授
会長代理	木下 剛	千葉大学大学院園芸学研究院教授
委 員	平岡 考	公益財団法人 山階鳥類研究事務局広報デレクタ ー兼専門員
委 員	小谷 幸司	日本大学生物資源科学部教授
委 員	高橋 盛男	緑のネットワーク・まつど副代表
委 員	小嶋 功	松戸ふるさと森の会会長
委 員	河合 直志	造園業
委 員	石川 静枝	NPO法人さんま代表
委 員	藤田 博美	松戸花壇づくりネットワーク副会長
委 員	藤田 隆	公募による市民
委 員	上野 義介	公募による市民
委 員	桙谷 有三	公募による市民
委 員	脇阪 秀子	公募による市民（令和 5 年 1 月まで）
委 員	鎌田 玲江	公募による市民（令和 4 年 12 月まで）
委 員	並木 能子	公募による市民（令和 5 年 5 月 1 日から）
委 員	河野 芳久	公募による市民（令和 5 年 5 月 1 日から）
委 員	増木 宏行	公募による市民（令和 5 年 5 月 1 日から）

■第 12 期松戸市みどり推進委員会の開催概要

委員会	開催日	主な内容
委嘱式 第 1 回	令和 4 年 8 月 5 日 (金)	・ 新型コロナウイルスの状況を鑑み延期
第 1 回	令和 4 年 10 月 24 日 (月)	・ これまでの委員会の主な活動について ・ 第 12 期テーマについて ・ みどりのサロン部会の継続について
第 2 回	令和 4 年 12 月 23 日 (金)	・ 第 12 期緑推進委員会テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告
第 3 回	令和 5 年 1 月 27 日 (金)	・ 緑推進委員を辞退申し入れについて ・ 委員辞退欠員による市民委員の再募集について ・ 市民委員募集の条件について
第 4 回	令和 5 年 3 月 29 日 (水)	・ 第 12 期緑推進委員会テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告 ・ 緑と花のフェスティバル 2023 の参加について ・ 第 11 回オープンフォレスト in 松戸の後援について
第 5 回	令和 5 年 5 月 25 日 (木)	・ 第 12 期緑推進委員会テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告 ・ 緑と花のフェスティバル 2023 参加報告
第 6 回	令和 5 年 7 月 21 日 (金)	・ 第 12 期緑推進委員会テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告
第 7 回	令和 5 年 10 月 6 日 (金)	・ 第 12 期緑推進委員会テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告
第 8 回	令和 5 年 12 月 18 日 (月)	・ みどりのシティープロモーションについて ・ 次期市民委員募集テーマについて ・ みどりのサロン部会からの報告
第 9 回	令和 6 年 3 月 26 日 (水)	・ みどりのシティープロモーションについて ・ 緑と花のフェスティバル 2024 の参加について ・ 提言及び活動報告について ・ 第 12 回オープンフォレスト in 松戸の後援について ・ みらいフェスタ参加見送りについて
第 10 回	令和 6 年 5 月 8 日 (水)	・ 第 12 期緑推進委員会の提言および活動報告について ・ 緑と花のフェスティバル 2024 の参加報告
第 11 回	令和 6 年 6 月 24 日 (月)	・ 第 12 期緑推進委員会の提言および活動報告について ・ 市長へ報告

■松戸市緑推進委員会の活動模式図



■みどりのサロン部会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
座 長	高橋 盛男	緑のネットワーク・まつど副代表
委 員	石川 静枝	NPO法人さんま代表
委 員	上野 義介	公募による市民
委 員	藤田 隆	公募による市民
委 員	桝谷 有三	公募による市民
委 員	中根 千夏	公募による市民
委 員	増木 宏行	公募による市民

■みどりのサロン部会の活動記録

活動名称 (活動団体名称)	開催日	主な内容
みどりの サロン部会①	令和4年 11月21日(月)	・これまでの活動について ・第12期サロン部会の活動について
みどりの サロン部会②	令和5年 1月27日(金)	・第2回松戸みどりのフォーラムについて ・みらいフェスタ2023の出展について
みどりの サロン部会③	令和5年 5月18日(木)	・みどりのフォーラムについて
みどりの サロン部会④	令和5年 6月27日(火)	・みどりのフォーラムの企画と開催について
みどりの サロン部会⑤	令和5年 7月31日(月)	・あそびの森について ・みどりのフォーラムについて
みどりの サロン部会⑥	令和5年 8月29日(火)	・みどりのフォーラム開催準備について
みどりの サロン部会⑦	令和5年 9月21日(木)	・みどりのフォーラム開催準備について
みどりの サロン部会⑧	令和5年 10月25日(水)	・みどりのフォーラム開催準備について ・設営について
みどりの サロン部会⑨	令和5年 12月14日(木)	・みどりのフォーラムの振り返り ・みどりのメッセージブックについて

■「里やまボランティア入門講座」関連資料

里やまボランティア入門講座 2023



日 時	内 容	講 師・協 力	会 場
10月14日(土)	里やまって何だろう?	森林インストラクター 金井康郎氏	21世紀の森と広場 パークセンター多目的室
9:50~15:00	森の観察	松戸里やま応援団	千駄堀地区の森
10月21日(土)	行政と松戸のみどり/里やまボランティアって?	松戸市役所・松戸里やま応援団	稲台市民センター会議室
9:50~15:00	森の観察	松戸里やま応援団	松戸新田地区の森
10月28日(土)	都市の緑の役割	千葉大学大学院園芸学研究院 教授 柳井重人氏	矢切公民館会議室
9:50~15:00	里やままで何したい?(グループワーク)	緑のネットワーク まつど副代表 高橋盛男氏	
11月11日(土)	森を楽しもう	松戸里やま応援団	三吉の森(常盤平)
9:50~15:00	安全講義・作業(伐倒)体験・工作体験		
11月18日(土)	里やま保全活動の原点「関さんの森」	関さんの森を育む会・溜ノ上の森の会	溜ノ上の森・関さんの森
9:50~15:00	里やま体験を振り返る(グループワーク)	緑のネットワーク まつど副代表 高橋盛男氏	小金市民センター会議室
10/15~11/17	森の活動日に合わせて森をご案内。各自好みの森を自由に訪問する。		

◆ 定 員：20名 市内在住・在勤・在学、18歳以上の方（応募が定員を超えた場合は抽選）

◆ 受 講 料：3,000円（保険料・教材費含む）

◆ 共 催：松戸市みどりと花の課・松戸里やま応援団・松戸まちづくり交流室

◆ 申 込 み：ハガキまたはメールに住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話（FAX）番号を記入してお申込みください。

右のQRコード【松戸市オンライン申請システム】からもお申込みできます。

◆ 郵 送 先：〒271-8588 松戸市役所 みどりと花の課 宛

◆ メ ー ル：mcmidori@city.matsudo.chiba.jp

◆ 申込期限：9月29日（金）必着

※受講案内は10月6日（金）までにメール又は郵送にて送付します。

【松戸市オンライン申請システム】



申込み受付開始
9月15日

【里やまボランティア入門講座ポスター】



【里やまボランティア入門講座の様子】

■「オープンフォレスト in 松戸」関連資料



【オープンフォレスト配布資料】



【オープンフォレストの様子】

● オープンフォレスト来場者数推移

年 度	第1回 (H24)	第2回 (H25)	第3回 (H26)	第4回 (H27)	第5回 (H28)	第6回 (H29)
来場者数(人)	2,500	2,100	3,200	2,300	2,500	2,300
年 度	第7回 (H30)	第8回 (H31)	第9回 (R3)	第10回 (R4)	第11回 (R5)	第12回 (R6)
来場者数(人)	2,800	2,100	500	1,300	1,700	2,400

● まつど森ずかんについて

「色々な人に見てもらいたい、手にとってもらいたい」との里やまに係る多くの方々の思いから、新しくガイドブックがデザインされました。



【まつど森ずかん（抜粋）】

■「松戸のみどり再発見ツアー」開催一覧

回数	開催日	開催場所	スローガン	主 催	参加者数
59	4.10.1（土）	松戸・本町	戸定が丘歴史公園・庭園復元を振り返る	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	28 名
60	5.1.11（水）	北小金	歴史あるみどりをつないで初詣・七福神と富士山も	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	31 名
61	5.4.16（日）	市川市大町	市ざかいに残る豊かな自然を訪ねる	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	22 名
62	5.5.19（金）	金ケ作	常盤平駅北側を尋ねる	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	19 名
63	5.10.15（日）	矢切	松戸のシンボル矢切の斜面林から里見公園へ	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	雨天
64	6.1.9（火）	上本郷	上本郷、湧水めぐって初詣	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	6 名
65	6.4.20（土）	東松戸・紙敷	新緑の森をつないで歩く松戸・市川市ざかい散歩	緑ネットワーク・まつど 後援：行動会議、松戸市	25 名
				合 計	131 名

みどりのメッセージブック



みどりと暮らす
松戸に暮らす
豊かに暮らす

草花であそぼう～公園の木の実で草花あそび
New草花あそび研究所 相澤所長インタビュー
まちの人たちと楽しむ みどりのある暮らし

みどりと遊ぶ 暮らしの提案

みどり豊かなまち、まつど

大切なみどりに目を向け
暮らしにみどりの豊かさを..



そんな まちづくりを推進するため
身近なみどりを楽しむライフスタイルを提案します

みどりと暮らすってどういうこと？
みどりで生活がどう豊かになるの？

その答えを、みどりのメッセージブックと一緒に探
していきましょう

【みどりと遊ぶ】

関連する「みどりのあるライフスタイル」

あそぶ

はぐくむ



さがして、ひろって、あつめて、つくる
草花であそぼう！

近くの公園で たから探しをしてみませんか？
落ちている木の実や草花で いろいろな作品が出来ます

New草花あそび研究所の所長 相澤悦子さんは
身近な草花と仲良く遊ぶスペシャリスト

相澤先生の草花遊びを 親子で体験しました！



みどりのメッセージブック もくじ

関連する「みどりのあるライフスタイル」

【みどりと遊ぶ】 P.02~06

草花であそぼう！

さがして、ひろって、あつめて、つくる！

公園で草花あそび体験記

あそぶ

はぐくむ

【インタビュー】 P.07~10

New草花あそび研究所 所長 相澤悦子さん

松戸市在住の草花あそびのスペシャリストに

身近な自然を楽しむコツを伺いました

あそぶ

はたらく

はぐくむ

【チャレンジ】 P.11~12

草花あそびの作り方を紹介

身近な草花であそんでみよう！

あそぶ

【食べられる景観】 P.13~16

まちの人たちと楽しむエディブルウェイプロジェクト

みんな育て、みんなで作る食べられる景観づくり

「エディブルウェイ」を紹介

つどう

たべる

はぐくむ

うごく



大きな ヒマラヤスギの 木の下で

相澤悦子先生



先生：相澤悦子さん
(New草花あそび研究所)
体験してくれた方：
Nさん・Rちゃん親子
場所：横須賀中央公園



先生 私が一番好きな木はこれ！ **ヒマラヤスギ**です。**バラの花みたいな実**になります。落ちて実を探してみよう！

Rちゃん あっ、あったー！

先生 よく見ると後ろに穴があるよ。細い枝をつけてみよう。ほらっ、お花になったね！



細い枝をさしたらバラに！



ヒマラヤスギの実

Rちゃん できた！たくさん作りたいな。

先生 よし、じゃあ、たくさん探そうぞ〜。あるかな、あるかな？

先生 いっぱいいろいろなものが落ちているね。木の下をぐるっと回ってよく見てみよう。ちょっとこれを見て。

木の実でつくったハチさんです。



メタセコイアの実

これはメタセコイアの実でつくりました。メタセコイアの実と、ヒマラヤスギの雄花の軸と、ルナリアの鞘で作ったハチです！



花びらでもいろいろな遊びができるんだね

先生 ここは私が大好きでよく来る公園。いろいろなところを紹介したいな。あそここの木、赤い花がいっぱい咲いているね。あれはサザンカの花だよ。冬になると、花びらが一枚ずつ落ちていくんです。この花びら、何となくハートに見えませんか？

Nさん そう言われると、ハートのようでもあるけれど……。

先生 では、ハートにしちゃいましょう！花びらを半分に折って、下の方を斜めにちぎると、ほら、ハートのできあがり。やってみる？

Rちゃん うん。…… ハート、できた！

5

先生 松葉は落ちていないかな、松葉、まつば……。あ、あった。ハートをこの松葉にさして……。はい、ハートのお団子ができあがりしました。

Rちゃん わあ、お団子だ、赤いお団子！



まん丸トゲトゲ、プラタナスの実を探そう！

先生 私がつくったこれ、何に見える？

Rちゃん ハリネズミ！

先生 正解！これは**プラタナスの実**

じゃあ、この実を探しに行こう！この木がプラタナス、ハリネズミの木。下に落ちている大きなギザギザの枯れ葉が、この木の葉。上を見ると実がなっているけど、下には落ちていないね。どうしようかな。私が前に拾っておいたのがあるから、それを使って作ろうか。

Rちゃん はい！

Nさん この実が落ちているのはいつですか？

先生 秋には実が落ちはじめます。台風など強い風が吹いたあとは、たくさん実が落ちていきますよ。



プラタナスの実 まわりのトゲトゲは種子

先生 できたハリネズミは、まわりがトゲトゲで、顔のところがフワフワになっているでしょ。どうすればフワフワになると思う？外側のトゲトゲをピンセットで取っていくと、フワフワが出てくるんです。そうやって、お顔とおなかをつくろう！



トゲトゲを1本1本取ると 中のフワフワが出てきます

先生 耳と手はプラタナスの切った葉っぱ。目と鼻はマメアサガオの種。他の種やビーズでも大丈夫。しっぽはプラタナスの実の軸を使います。それらをボンドでつけていきましょう。

Rちゃん …………… (作成中)

先生 フワフワを出すのはちょっと根気がいるけど、よくできたね。とってもかわいいハリネズミさんですよ。

Rちゃん うれしいー！

4

先生 サザンカの花びら、今度は何だか**キツネに見えてきました……**

Nさん キツネですか？

先生 うん、作ってみましょうか。キツネのお顔に、とんがりお目めを爪でつけて、おヒゲは松葉を使いましょう。体は花びらを逆さまにつけて、と。尻尾はサザンカの黄色い雄しべがいいかな。



Nさん 花びらのキツネ、今思いついたんですか？

先生 そう。花びらでハートをつくっていたら、キツネに見えてきたんです。



モミジバフウの実 スプレーで黒く塗ったら 虫さんのできあがり

先生 木の実、木の花、草の葉などをながめて「あれかな？これかな？」想像をしながら**イメージを重ね合わせて**いくと、いろいろなものに見えてきますよ。そこが**草花あそびの楽しいところ**です。

先生 次は松葉でお星さまをつくろうかな。きれいな松葉と、松ぼっくりも探してね。



松葉でつくった星を松ぼっくりに飾りました

【お母さんの感想】

実際に作ってみて「植物の世界がまた広がったなあ」とうれしく思っています。かわいいハリネズミさん、サザンカのきつねなど、相澤先生と一緒に歩くと、いろいろな木の落としものに目が行って楽しくなりました。この体験のあと、公園や道端で草木をよ〜く見るようになり、「これは何かにつかえそうだな！」と思ってお家でモビールを作ったりもしました。娘もとっても喜んでいて、一緒に公園に遊びに来たおともだちにさっそく作ったものを披露していました。

【市内公園情報】



6



New草花あそび研究所 所長 相澤悦子さん

草花あそびを教えて下さった相澤先生にその活動や自然を楽しむコツをお伺いしました



草花あそびで植物に詳しくなると 世界の解像度がアップして見えてきます

—草花あそびをはじめたきっかけは？

子育てが落ち着いた頃、ナガミヒナゲシが家の庭にはえていて、面白い形だなと思って遊んでいたら、予想以上にたくさんのものができました。植物ってこんなに遊べるんだなと思って、いろんな植物で遊び始めました。

—いつからはじめられたのですか？

2016年から始めました。初めて本が出たのは、2018年です。楽しくて、どんどん作品を作りました。

—参加している子どもたちはどんな様子ですか？

草花あそびの見本を見せると、子どもたちはそこから発展してオリジナルを作



ることが楽しいようです。どんどんアイデアを出してくれます。私もそれを見るのが一番嬉しいです。

男の子の反応がおもしろくて、雑草がたくさんあるところに行くと、雑草をなぎ倒して戦いごっこをする子もいます。それも遊びの一つであり、良いと思います。雑草はそのままでは刈られてしまうものかもしれません。



植物の花で作ったお人形

養蜂は、巣箱を設置して、試行錯誤で3年かけて成功させました。7kgのはちみつが採れました。

ニワトリの骨格標本づくりでは、庭でモグラの骨を見つけたところから、骨格標本に興味を持って、ニワトリを1羽ゆでて骨格標本をつくりました。

子どもとのこの体験は良い思い出です。

—普段所長としてのお仕事は？

X(旧Twitter)に作品を上げるのがお仕事です。見た方が、それをきっかけに植物の名前を覚えたり、面白いと思って遊んでくれると嬉しいし、見るだけでも、関心を持ってくれば嬉しいです。なので、作り方も全部のせています。

—普段の生活の中で、身近な自然を楽しむコツはありますか？

まずは草花を手にとってみて、よく観察してみる。水に挿して飾ってもいいし、机の上に置いておくだけでもドライ



ツツジでつくったネズミ3兄弟

になる変化を楽しめます。木の实なら拾って、油性ペンで顔を書いてみたり。ちょっとしたふれあいでも自然との対話がうまれて、その積み重ねで十分自然を感じられます。この公園も、私にとっては、十分大自然です。小さな草花を覗き込むと豊かな無限の世界が待っています。

—先生からメッセージ

自然の美しさに触れることはとても大切だと思います。木の樹形や葉の形や色、本物に触れてほしいです。自然の美しさにたくさん触れて、吸収してほしいです。私が草花あそびを思いつくのは、植物をきれいだと思うからです。植物を愛する気持ちを植物に向けてほしいし、草花あそびで植物に詳しくなると、世界の解像度がアップして見えてきます。

植物は刈られるより、遊んでほしいと思っていますのかもしれない。

お花を摘むのがかわいそうと思う方もいらっしゃると思いますが、雑草はたくさんあるので、また生えてきます。遊んだからこそ、その花のかわいさや良さが分かって、大切に思ってくれるかもしれません。いろんな遊び方で触れ合ってほしいですね。

—作品はどうやって生み出しているのでしょうか？

2パターンあって、植物が何かに似て見えたときは、それに近づくために試行錯誤します。また、植物の美しさ、面白さにときめいたときは、その特徴を更に楽しめる方法を考えています。

—ご家族の反応は？

初めは、やめなよー。って息子に言われたのですが、止まらないんだよ。と言って続けました。制作で部屋を散らかしても怒れないのは助かります。



—先生のお子さんの自由研究のお話もおもしろかったですよね。

子どもの自由研究は養蜂、井戸掘り、ニワトリの骨格標本づくりなどを行いました。

井戸掘りでは、お隣の工事で2m位掘ったところで水たまりができているのを見つけて、子どもに見せると、「井戸を掘りたい」と言ったので、子どもが井戸の掘り方を調べて、4m掘って、ポンプを設置して井戸を作りました。その井戸も10年以上使っています。



1 ニワトリの骨格標本 2 4m掘った井戸は今でも使用中

3 3年がかりで成功した養蜂・庭に設置した日本ミツバチの巣箱

猫じゃらしで遊べば、猫じゃらしが目に入るようになって、楽しめるようになる。植物はどこにでもあるから、植物のお友達を増やしてください。

草花あそびは、身近な植物をつかいます。変わらない姿で、いつでも同じようなところにいてくれる植物。みんなが大人になっても、同じように遊んで、誰かに伝えることもできるでしょう。普遍的なものだからこそ伝承することができるのです。花を摘むのはかわいそうとか言われているけれど、雑草は摘んでも遅く生えてきます。ぜひ植物と遊んで、その美しさ、面白さ、素晴らしさを感じてもらえたら嬉しいです。



相澤悦子さん プロフィール

「New草花あそび研究所」所長

簡単に楽しい草花あそびを日々考えていて、オリジナルの草花あそび・草花工作は700種以上。日々、新しい作品を考案し続けている。松戸市在住。

Instagram



@INORI.KUSABANAASOBI

x



野ねずみきょうだいの草花あそび
～初夏から秋まで～
作・相澤悦子／絵・長谷川 直子
福音館書店刊

／チャレンジ！／

まっば ほし つく
松葉で星を作ってみよう！相澤先生に教えていただいた
草花あそびの作り方を紹介

まっばのおほしさま

アレンジ
松ぼっくりに乗せると
かわいいツリーに

How to make つくりかた

1 葉が2本ついた松葉を三
等分に折ります。2 松葉の付け根を上にし、
数字の「4」になるよう
に持ちます。3 横の葉先を手前から真ん
中に通します。4 もう片方を奥から手前に
通します5 葉の平らな面を見つけ、
折り目のところで葉先を
さします。

たんぽぽの綿毛のパンダ

ほかにも季節の草花で遊んでみよう！

- 1 飛ばない綿毛を作る。花が終わって閉じ
た状態のものをつまみ、綿毛が開くまで置いて
おく。種がベージュ色のものを選ぶ（焦茶色
に熟したものは綿毛が飛ぶのでNG）。
- 2 ビオラの押し花などを木工用ボンド少量
でつける。



ガラスノエンドウの飛行機

- 1 胴体の鞘（大）に爪で切れ目を入れ、主翼の
鞘（大）と尾翼の鞘（小）を、鞘の先端の硬い
方から差し込み、爪で翼の形に切って整える。
- 2 葉を取り除いたツルで吊るしたり、投げ
て遊びます。



お花のお絵かき

- 1 ダンボールに花カゴや花瓶などの絵を描
く（ボスカーがおすすめ）。
- 2 花を差したい場所に爪楊枝などで穴を開
け、摘んだ花を差してできあがり。
花びらが散ったり、ドライフラワーになっ
たり、観察も楽しんで。



公園での草花あそびでは、次のことに気をつけてください。

- ・草花や樹木を大切にしましょう。
- ・植物の採取はしないでください。
- ・落ち葉や木の実など、木から落ちたものは自由に遊べます。

【食べられる景観】

まちの人たちと楽しむみどりのある暮らし

「エディブルウェイ」をご存知ですか？

JR松戸駅から千葉大学園芸学部まで道筋で見かける黒い布製のプランター。そこには野菜やハーブが植えられています。これが食べられる景観づくりとして2016年に始まった「エディブルウェイ」。代表の江口亜維子さん、副代表の渡邊 愛さんと青木恵美子さんに、活動を始めたいきさつやそのねらいを尋ねました。

エディブルウェイとは？

食べられる景観（エディブル・ランドスケープ）とは、果実や、野菜、ハーブなど食べることができる植物で、美しく計画的な景観をつくることを意味します。コミュニケーションを促し、コミュニティづくりに役立つと言われています。

「エディブルウェイ」は、沿道の家やお店の前のスペースに、プランターを置いて、野菜やハーブなどを育てて「食べられる景観」づくりのプロジェクトです。

ハーブや野菜など食べられる植物を植えたおそろいのプランターが並ぶことで、「食べられる＝エディブル」「道＝ウェイ」ができ、みんなで、食べられる景観づくりの「方

法＝ウェイ」を探索しようという意味がこめられています。

JR松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約1kmの沿道で食べられる景観づくりに取り組み、人々、人と人、人と緑をつなごうと、2016年に、千葉大学園芸学部木下勇地域計画学研究室と地域にお住まいの方との協力により、プロジェクトを開始しました。2020年4月からは、市民活動団体としてプロジェクトを進めています。食べられる景観づくりから、沿道でのコミュニケーションを増やすこと、植物を使ったクラフトづくりを通じ、地域環境を学び合う、多世代の交流の場をつくることなど、園芸活動を通じたゆるやかなコミュニティづくりを目指しています。



関連する「みどりのあるライフスタイル」

つどう

たべる

はぐくむ

うごく



どんな活動をしているの？

● 食べられる景観づくり

住宅、お店など敷地内の道路から見える場所にエディブルウェイのプランターを置いて、野菜やハーブを育てています。プランターの植え替えは、年2回。植え替えの時期に、講座とタネと苗の交換会を開催。2024年4月までに、60箇所で、120個ほどのプランターで栽培しています。景観づくりには、子どもから90代まで幅広い世代の方が参加しています。

● ハーブクラフト・クラフトづくり

育てたハーブを気軽に生活に取り入れる知識を学ぶために、年に2回ハーブクラフト講座を開催。また、自然素材を使ったクラフトづくりワークショップも年に2回開催しています。ワークショップの告知は、Instagramやfacebookで行っています。（16ページQRコード参照）



植え替え講座



ハーブクラフト講座

街なかにあるエディブルウェイのプランターには、野菜と一緒に、アリッサムとビオラなど花も寄せ植えしている。春に向けて成長している野菜の苗に彩を添えてくれる。

プランターの前で撮影。
本紙取材中も、エディブル
ウェイ参加者から声をかけら
れ話ははずむ。

-3人はどのようにして出会ったのですか？

渡邊 2017年の春に、リアカーでプランターを運ぶ江口さんを見かけ、声をかけました。娘を出産したばかりの頃で、娘をおんぶして活動に参加したのはがじまりです。

青木 エディブルウェイのプランターが住んでいる集合住宅に置かれていました。2017年春の植替えで何を植えるかの相談会に子どもと参加したのが江口さんとの出会いです。江口 青木さん、渡邊さんに出会ったのは別々の機会でしたが、アートや建築、クラブづくりなどそれぞれの背景や関心に共通するものがあって、話がはずみ、エディブルウェイの活動にも色々アイデアをいただくようになりました。

-なぜエディブルウェイに参加したのですか？

渡邊 プランターがおしゃれだな、どこで買えるのかなと思ったのがきっかけです。野菜の栽培に興味はあるけど、私にはハードルが高かったのですが、植え方を教えてもらえるというので、入りやすかったです。

青木 私の場合は、野菜を育てたいというより、コミュニケーションを求めて参加したところが大きいです。

野菜を育てることに興味がない人もいますが、エディブルウェイの取り組みが、コミュニティづくりにつながっていく要素があるというところに魅力を感じました。

渡邊 コミュニティづくりというと、抵抗感を持つ人もいますが、人と人を強く結びつけるようなコミュニティではなく、エディブルウェイはご近所の方々の顔がゆるく見えていくような感じです。

コミュニケーション能力が高くなくても、ゆるいつながりだから気軽に参加できるところが良さといえるでしょうか。

-代表の江口さんは、どのような方ですか？

青木 新しいリーダー像！！

ゆるい感じでまわりの人々を抱え込むというか…グイグイ人を引っ張っていくようなリーダーではなく、見ていて他の人が思わず「私がやるよ！」と声も手も出してしまふ、そんなリーダーですね。

渡邊 そこが引きの強いところなのでしょうね。まわりの人から意見や提案が出ると「では、どうすればいいと思う？」とフィードバックしながら進めることで、みんなが自主的に考えて行動するような活動になっています。

江口 学生主体の活動の頃は、どうやって続けていくのが課題でした。地域活動として継続することになった時に、おふたりが「一緒にやるよ」と言うてくださって、今の体制になりました。3人とも環境教育やクラブづくりに関心があったので、それぞれの得意分野を活かして、植物を使ったクラフトワークショップを始めたり、土づくりを学び始めたり、活動が充実してきました。おふたりがいなかったら、ここまで続けられなかったと思います。



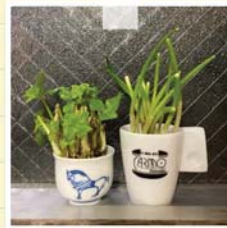
左から江口亜穂子さん、渡邊 愛さん、青木 恵美子さん

How to

エディブルウェイを気軽に楽しむアイデアあれこれ

● 野菜の再生栽培

ネギや三つ葉の根を土に植えると、新しい葉が伸びてきて、食べられます。大根やニンジンも、残ったへたの部分を植えておくと、伸びてきた葉を食べられます。水につけておいても、育ちます。いろいろな野菜で試してみるとおもしろいですよ！



● リサイクルプランター

紙パックや、空き缶の底に穴をあけるとミニプランターになります。ミズナやルッコラなどを育てると、食卓に緑が足りない時、気軽にサラダに使えます。見た目もかわいいリサイクルプランターです！



● おすすめハーブと使い方

初めてハーブを育てるなら、ミントが育てやすいです。挿し木でも簡単に増えて、どんどん育ちます。簡単な使い方はハーブウォーターがおすすめ。たくさん育つので気兼ねなく、枝ごと切ってボトルに入れ、水を注ぐだけで爽やかな香り。夏の外出にぴったり！



エディブルウェイの情報はこちらから！

Instagram



facebook



ホームページ



「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」

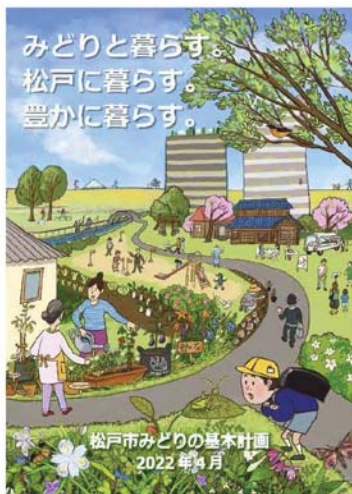
松戸市の将来像である「暮らしが自然と調和する緑のふるさと松戸」の実現に向け、行政・市民・企業の3者が一体となって、みどりと共に暮らす豊かさを大切にしたい、松戸のみどりを育てていくために「松戸みどりの市民憲章」を制定しました。

「松戸みどりの市民憲章」（抜粋）

1. 松戸市民はみどりと暮らす豊かさを大切にします。
1. 千年来のみどりの声に耳を傾け、百年後のみどりを育てます。
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。

2004年(平成16年)10月1日制定

「みどりの基本計画」知っていますか？



みどりの基本計画とは、緑地の保全と緑化を進めるための計画です。

松戸市では、2022年(令和4年)3月に、これまでの計画を刷新し、新しい「松戸みどりの基本計画」ができました。

「松戸みどりの市民憲章」を目指し、「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」をテーマにしています。みどり豊かな環境づくりやプログラムづくりにより、みどりのある多様なライフスタイルを目指します。

松戸市みどりの基本計画
ホームページQRコード



みどりのあるライフスタイルの楽しみ方

みどりのあるライフスタイルを日常生活のワンシーンとして7つに表現しました。様々なみどりの中で、多様なライフスタイルを楽しむヒントが見つかります！

憩

いこう

みどりの中で、くつろぎ、心のゆとりを感じられる暮らし

育

はぐくむ

みどりの魅力や育てる喜びを感じ、緑に彩られた暮らし

動

うごく

心身の健康を守り、生き生きとした暮らし

食

たべる

くだものや野菜、ハーブなどの収穫や食を楽しむ暮らし

遊

あそぶ

子どもたちの夢とあそびのある暮らし

集

つどう

まちのにぎわいや楽しさを感じられる暮らし

働

はたらく

多様なワークスタイルとライフスタイルの提案





みどりのメッセージブック vol.1

発行日：2024年4月29日

企画・発行：松戸市緑推進委員会/松戸市

みどりのメッセージブック編集部

お問合せ：松戸市街づくり部みどりと花の課

ちば電子サービス
アンケートに
ご協力ください



■メッセージブックの作成について

メッセージブックの作成には、それぞれの経験や技術を持った市民にご協力いただき作成しました。簡単ではございますがご紹介いたします。

取材協力

- **New 草花あそび研究所 所長 相澤 悦子氏**

（草花あそび体験記、インタビュー、草花あそび作り方紹介）
簡単に楽しく完成度が高いをモットーに新しい草花あそびを日々考案し、X(旧 Twitter)などで作り方を公開。オリジナルの草花あそび・草花工作は 700 種以上。松戸市在住。

- **エディブルウェイプロジェクトチーム（食べられる景観づくり）**

代表 江口亜維子氏、副代表 青木 恵美子氏、副代表 渡邊 愛氏
JR 松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約 1km の沿道で食べられる景観づくりを行っています。園芸活動を通じたゆるやかなコミュニティづくりを目指しています。

- **Nさん親子（草花あそびの体験モデル）**

自然が大好きなお母さんと 5 歳の娘さんの親子。日頃から公園や森での遊びを楽しんでいます。松戸市出身。

撮影協力

- **フォトグラファー 鈴木ヨシアキ氏（草花あそび体験記撮影）**

写真撮影・映像制作をライフワークとして独学で学ぶ。人物/イベント/建築/ダンス/ライブ/取材/プロモーションのフォトグラフとムービー分野で多岐に活動。松戸市出身。

編集協力

- **高橋 盛男氏（全体の構成・編集）**

松戸市緑推進委員、緑のネットワーク・まつど副代表

デザイン・編集協力

- **江口亜維子氏、青木 恵美子氏、渡邊 愛氏（全体のデザイン）**

エディブルウェイプロジェクトチーム運営メンバー。デザインやアート、まちづくりに造詣が深い。

みどりのメッセージブックに関するアンケート結果

4/29（緑と花のフェスティバル）分
回答数 79

■回答者情報

	男性	女性	その他	未回答・無効
実数	21	58	0	0
構成比	26.6%	73.4%	0.0%	0.0%

	松戸市内	松戸市外	未回答・無効
実数	64	14	1
構成比	81.0%	17.7%	1.3%

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答・無効
実数	0	2	19	22	7	7	22	0
構成比	0.0%	2.5%	24.1%	27.8%	8.9%	8.9%	27.8%	0.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	未回答・無効
実数	11	22	12	25	7	2
構成比	13.9%	27.8%	15.2%	31.6%	8.9%	2.5%

	単独世帯	夫婦のみ世帯	子ども3人以上の世帯	その他世帯	未回答・無効
実数	9	21	45	2	2
構成比	11.4%	26.6%	57.0%	2.5%	2.5%

	未就学児	小学生（3年生以下）	小学生（4年生以上）	中学生	高校生以上	なし	未回答・無効
実数	24	10	3	1	14	13	14
構成比	30.4%	12.7%	3.8%	1.3%	17.7%	16.5%	17.7%

	ある	なし	未回答・無効
実数	36	26	17
構成比	45.6%	32.9%	21.5%

（「ある」の詳細）
・園芸、サボテン、家庭菜園、ガーデニング、畑、庭の手入れ
・旅行、ドライブ、キャンプ、BBQ、自然あそび、散歩
・水泳、バスケットボール
・音楽鑑賞、ピアノ、映画鑑賞、読書、工作、料理、ゲーム、YouTube、猫、レゴ

（8）家族での主な休日の過ごし方
・庭仕事、家庭菜園、畑作業、花
・お出かけ、外食、ショッピング
・公園あそび、レジャー、キャンプ、ピクニック、道の駅巡り、イベント参加
・スケボー、サッカー、グランドゴルフ
・絵、部活動、各自自由に過ごす

■みどりのメッセージブックについて

(1) 表紙のデザインを見て読んでみたいと思いましたか。							
	読んでみたいと思った	どちらかと言えば読んでみたいと思った	どちらとも言えない	どちらかと言えば読んでみたいと思わなかった	読んでみたいと思わなかった	その他	未回答・無効
実数	43	24	5	2	0	0	5
構成比	54.4%	30.4%	6.3%	2.5%	0.0%	0.0%	6.3%

(2) 内容に好感を持てましたか。							
	好感を持てた	どちらかと言えば好感を持てた	どちらとも言えない	どちらかと言えば好感を持てなかった	好感を持てなかった	その他	未回答・無効
実数	53	20	1	1	0	0	4
構成比	67.1%	25.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	5.1%

(3) 一番興味を持った記事は何ですか。							
	草花とあそぼう！	花あそび研究所 稲葉所長インタビュー	草花あそびの作り方紹介	まちの人たちと楽しむエディブルウェアプロジェクト	みどりと暮らす豊かな未来を感じるまちづくり	その他	未回答・無効
実数	29	3	26	6	5	1	9
構成比	36.7%	3.8%	32.9%	7.6%	6.3%	1.3%	11.4%

(4) 冊子に掲載している提案のうち、挑戦してみたいことはありましたか。							
	ある	どちらかと言えばある	どちらとも言えない	どちらかと言えばなかった	なかった	その他	未回答・無効
実数	34	24	10	1	4	0	6
構成比	43.0%	30.4%	12.7%	1.3%	5.1%	0.0%	7.6%

(5) 生活の中で、みどりに触れ合ったり、みどりを楽しむ機会はありますか。						
	ある	どちらかと言えばある	どちらかと言えない	ない	その他	未回答・無効
実数	48	15	9	3	0	4
構成比	60.8%	19.0%	11.4%	3.8%	0.0%	5.1%

（6）（5）において具体的にどのような機会ですか。
・花を育てる、ガーデニング、庭に植えた草花の手入れ等、家の敷地内の雑草駆除
・家庭菜園、畑へ行く
・近所の散歩、森、公園の中で良く観察して歩く、道の草花、公園の草花を調べる
・公園遊び（かくれんぼ等）、虫探し、ドングリや松ぼっくりで工作
・里やま応援団、花壇ネットワーク、仕事

(7) 松戸みどりの市民憲章を知っていましたか。				
	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	未回答・無効
実数	16	30	30	3
構成比	20.3%	38.0%	38.0%	3.8%

(8) 松戸市みどりの基本計画を知っていましたか。				
	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	未回答・無効
実数	31	14	31	3
構成比	39.2%	17.7%	39.2%	3.8%

(9) みどりのあるライフスタイルの中で 興味がある活動を教えてください。(複数選択可)							
	憩う	育む	動く	食べる	遊ぶ	集う	働く
実数	42	39	23	35	39	18	12

（10）紹介したいみどり、みどりに係わる事例がありましたら教えてください。
・シルバーボランティアの花壇づくり、里やま応援団、花壇ネットワーク、花のボランティア
・根本内小、根本内中の北傾斜、ヤブカンゾウスミレ、野藤
・松戸の里やま

■その他、メッセージブックに関するご意見・ご提案
・手づくり体験、こどもたち大変喜んでいた。
・しっかりした作りの冊子で、渡されたたくさんの方のチラシの中で一番読みごたえがあった。
・すばらしい冊子です。
・実践してみたいものがたくさんあった。
・どんどん空き地がなくなり住宅で埋められてしまうのが悲しい。人間のためだけではなく生き物のための場所であってほしい。
・コンポストをやっているが他の方法や松戸での取り組みを知りたい。子どもが森や里やまで遊ぶ経験を増やしたい。

みどりのメッセージブックに関するアンケート結果

5/5 (モリヒロフェスタ分) 分
回答数 74

■回答者情報

(1) 性別

	男性	女性	その他	未回答・無効
実数	19	54	0	1
構成比	25.7%	73.0%	0.0%	1.4%

(2) 住所

	松戸市内	松戸市外	未回答・無効
実数	42	31	1
構成比	56.8%	41.9%	1.4%

(3) 年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答・無効
実数	0	1	32	36	4	1	0	0
構成比	0.0%	1.4%	43.2%	48.6%	5.4%	1.4%	0.0%	0.0%

(4) 家族人数（本人含めて）

	1人	2人	3人	4人	5人以上	未回答・無効
実数	0	5	19	33	17	0
構成比	0.0%	6.8%	25.7%	44.6%	23.0%	0.0%

(5) 家族構成

	単独世帯	夫婦のみ世帯	子どもを育てる世帯（2世帯以上）	その他世帯	未回答・無効
実数	9	3	60	1	1
構成比	12.2%	4.1%	81.1%	1.4%	1.4%

(6) 一番下の子どもの年齢

	未就学児	小学生（3年生以下）	小学生（4年生以上）	中学生	高校生以上	なし	未回答・無効
実数	43	17	11	0	2	0	1
構成比	58.1%	23.0%	14.9%	0.0%	2.7%	0.0%	1.4%

(7) 家族共有の興味・趣味

	ある	なし	未回答・無効
実数	26	36	12
構成比	35.1%	48.6%	16.2%

（「ある」の詳細）

・旅行、キャンプ、子ども食堂、自然あそび、散歩、ワークショップ
・サッカー
・映画鑑賞、読書、工作、ゲーム

(8) 家族での主な休日の過ごし方

・お出かけ、ショッピング
・公園あそび、アスレチック、イベント参加
・サッカー
・子ども食堂、フードバンテリ、各自自由に過ごす

■みどりのメッセージブックについて

(1) 表紙のデザインを見て読んでみたいと思いましたか。

	読んでみたいと思った	どちらかと言えば読んでみたいと思った	どちらとも言えない	どちらかと言えば読んでみたいと思わなかった	読んでみたいと思わなかった	その他	未回答・無効
実数	34	26	8	2	2	1	1
構成比	45.9%	35.1%	10.8%	2.7%	2.7%	1.4%	1.4%

(2) 内容に好感を持ってましたか。

	好感を持てた	どちらかと言えば好感を持てた	どちらとも言えない	どちらかと言えば好感を持てなかった	好感を持てなかった	その他	未回答・無効
実数	51	21	2	0	0	0	0
構成比	68.9%	28.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 一番興味を持った記事は何ですか。

	草花とあそぼう！	花あそび研究所 報道関係インタビュー	草花あそびの作り方紹介	まちの人たちと楽しむエディブルプロジェクト	みどりと暮らす豊かな環境を築くまちづくり	その他	未回答・無効
実数	34	2	30	1	1	0	6
構成比	45.9%	2.7%	40.5%	1.4%	1.4%	0.0%	8.1%

(4) 冊子に掲載している提案のうち、挑戦してみたいことはありましたか。

	ある	どちらかと言えばある	どちらとも言えない	どちらかと言えばなかった	なかった	その他	未回答・無効
実数	36	28	7	1	1	0	1
構成比	48.6%	37.8%	9.5%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%

(5) 生活の中で、みどりに触れ合ったり、みどりを楽しむ機会がありますか。

	ある	どちらかと言えばある	どちらかと言えばない	ない	その他	未回答・無効
実数	33	23	16	2	0	0
構成比	44.6%	31.1%	21.6%	2.7%	0.0%	0.0%

(6) (5) において具体的にどのような機会ですか。

・花を育てる、ガーデニング、庭に植えた草花の手入れ等
・家庭菜園
・近所の散歩、道の草花
・公園遊び（かくれんぼ等）、虫探し、ドングリや松ぼっくりで工作、キャンプ、子供会、旅先で自然に触れる

(7) 松戸みどりの市民憲章を知っていましたか。

	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	未回答・無効
実数	1	18	54	1
構成比	1.4%	24.3%	73.0%	1.4%

(8) 松戸すみどりの基本計画を知っていましたか。

	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	未回答・無効
実数	16	0	58	0
構成比	21.6%	0.0%	78.4%	0.0%

(9) みどりのあるライフスタイルの中で、興味がある活動を教えてください。（複数選択可）

	憩う	育む	動く	食べる	遊ぶ	集う	働く
実数	41	26	15	21	53	13	7

(10) 紹介したいみどり、みどりに係わる事例がありましたら教えてください。

・ 植樹

■その他、メッセージブックに関するご意見、ご提案

・表紙のパンダがかわいかった。
・次号が楽しみ。
・実践してみたいものがたくさんあった。